

褐毛和牛審査標準

1. 改良目標

強健で、環境に対する適応性が強く、繁殖能力が高く、飼料とくに粗飼料の利用性に富み増体がよく、肉量、肉質ともすぐれていること。

2. 標準体型（目標とする大きさ）

性	月齡	体 重 kg	体 高 cm	胸 囲 cm	寬 幅 cm
雌	2 4	520	130	190	48
	4 8	600	134	200	50
雄	2 4	800	140	225	55
	4 8	1000	146	240	58

3. 付点審査の基準

区 分	摘 要	配 点
一般外貌 発 育 状 態	発育が良好で、被毛に光沢があり、繁殖牛にふさわしい肉付をしめし過肥でないもの	5 0
体 積・ 均 称	体幅、体深ともに十分で、適度の伸びがあり、体上線と体下線とがほぼ平行し、体軀は豊円で、各部のつりあいのよいもの	20
資 質・ 品 位	被毛は細くて柔軟、皮膚は薄めでやわらかく、ゆとりがあり、角と蹄との質のち密なもの、体は充実してほどよくしまり、性相がよくあられ、品位があり、温順で、活気のあるもの	20
体 色	被毛は黄褐色または赤褐色程度の単色が原則であるが、下腹部、下肢、後肢内面などの被毛は多少淡くてもよい 皮膚は淡紅色、角と蹄とは被毛に似た褐色	
頭・頸	頭は大きくなく、輪郭がはっきりし、額は広く平らで、鼻鏡が広く、口は大きく、あごの丈夫なもの、眼には生氣があり、しかも温和さをあらかずもの、耳は形がよく頂はくぼみの少ないもの 頸は長くなく、頭と肩へなだらかに移行し、雌はすっきりして、雄はたくましく、いずれも垂皮の重くないもの	4
前 軀 肩	き甲は適度の厚さとまるみとがあり、肩甲はほどよく傾斜し、肩後が充実して胸郭への移行がよく、肩端の突出していないもの	6 4
前 胸	広く深く充実し、脂肪こぶのないもの	2
中 軀 胸・肋	胸郭は広さ深さともに十分で、ひじ後までよく充実し、豊円の感があるもの、肋はよく開張し、肉付がよくてむらがないもの	1 8 6
腹	豊かで、下けん部がよく充実したもの	4
背・腰	体上線はまっすぐで強く、上面は広く平らで肉付きがよく、後軀への移行がなだらかなもの	8

後 軀 尻（殿）	広く長く平らで、よく充実し、腰角は突出せず、寛の位置は適当で、仙骨は高くなく、尾付きのよいもの	14 8
腿	腿は前後、内外、上下いずれの方向へもよく充実したもの	6
乳 器	乳房は大きく、四区均等に発達し、やわらかで弾力があり、乳頭は大きく、配置のよいもの	4
生殖器	睪丸は左右とも正常に発達し、陰のうにはいくらかゆとりがあり、包皮のゆるくないもの	
肢 蹄	肢は長くなく、関節は強く、管は適度にしまり、蹄は大きく厚く、形のよいもの、肢勢は正しく、安定感のあるもの	4
歩 様	肢の運びと踏み付きがよいもの	
	計	100

0～2点の範囲で、別に定める細則にしたがって総得点を補正する。

失 格 条 項

- 1．先天性奇形（豚尻を含む）のもの
- 2．生殖器が異常のもの
- 3．異毛色または顕著な白斑を有するもの